

フルーツフライを配合した飼料で育てた魚の試食会実施

～ウナギとニジマスをフルーツフライ（昆虫原料）飼料で養殖～

昭和興産株式会社（本社：東京都港区 / 代表取締役 社長執行役員：横尾 崇雄 / 以下弊社）はニチモウ株式会社、日本農産工業株式会社、住友化学株式会社と4社共同でフルーツフライ（昆虫原料）を配合した新規飼料の開発を進めていました。養殖魚に新規飼料（フルーツフライ配合）を与える養殖実験を実施し、出荷した魚の試食会を実施しました。

1. 背景と取り組み概要

近年、円安や漁獲高の減少を背景に水産養殖飼料の原料の大部分である魚粉の高騰が問題となっています。特に水産養殖飼料の原料の大部分は魚粉に依存しており、代替たんぱく質の必要性がより一層高まっています。本件は工業的に生産が可能で副次効果に期待ができるフルーツフライ（昆虫原料）に着目し、弊社はニチモウ株式会社、日本農産工業株式会社及び住友化学株式会社と4社共同プロジェクトとして、取り組みを進めておりました。2023年末よりウナギとニジマスを対象として、通常飼料とフルーツフライ配合飼料の比較評価をする給餌実験を実施しました。

2. フルーツフライ原料について

フルーツフライはミバエの一種で、南国に多く生息しています。弊社の取り扱うフルーツフライ原料はFlying SpArk社（本社：イスラエル）がタイで工業的に生産をしております。フルーツフライは腐敗した物を食べない生態上、美食家なハエとも呼ばれ衛生面にメリットがございます。また、他の昆虫と比べて育成期間が1週間と短いことから高い生産性も特徴です。

3. 試食会について

給餌試験で育てたニジマスとウナギの試食会を関係者40人余りにより開催し、通常飼料とフルーツフライ配合飼料で育てた魚の比較評価を行いました。フルーツフライ配合で育てた魚は臭いが軽減されているとの評価を得ました。



< お問い合わせ先 >

昭和興産株式会社

TEL：会社 03-3584-9153 携帯 080-4869-3749 MAIL：r-tanaka@showakosan.co.jp

フルーツフライを用いた飼料による養殖魚の成長性確認と効能評価

開発の背景



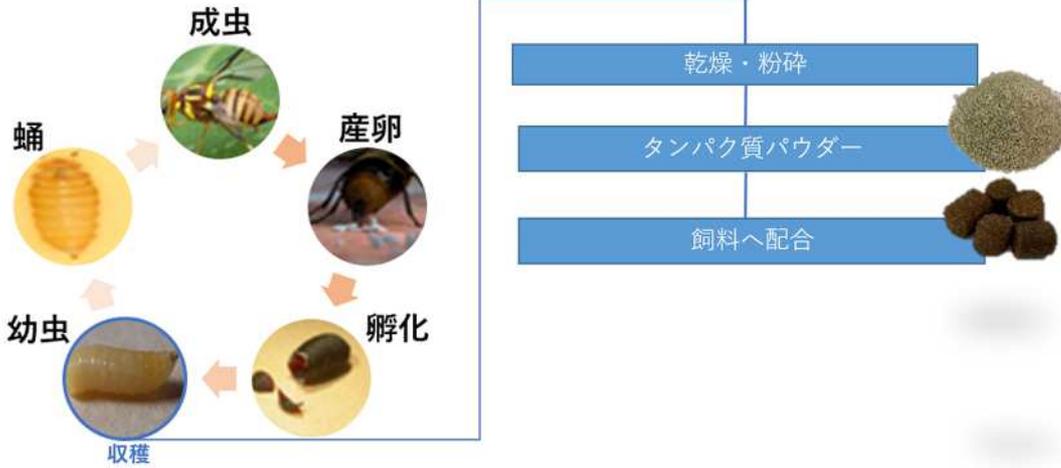
課題

- ・円安や漁獲高の減少を背景に魚粉が高騰している。
- ・魚粉は養殖飼料の主原料であり、価格の安定化は喫緊の課題。

解決策

- ・タンパク質が豊富なフルーツフライを工業的に生産し養殖飼料へ活用する。
- ・第一歩としてフルーツフライの飼料原料としての実用性評価と副次的効果の検証を行う。

フルーツフライ配合餌のプロセス



給餌実験

- ・養殖場にてウナギ、ニジマスを対象に給餌試験を実施。
- ・成長の面では飼料原料として問題なく使用できる事を確認。
- ・給餌実験の終了後、魚の分析により副次的効果（内臓重量、免疫賦活、食味など）の検証をする。

<お問い合わせ先>

昭和興産株式会社

TEL : 会社 03-3584-9153 携帯 080-4869-3749 MAIL : r-tanaka@showakosan.co.jp